

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: **58085730 A**

(43)Date of publication of
application: **23.05.83**

(51)Int. Cl

B60N 1/06
A47C 1/024
B60N 1/10

(21)Application number: **56185734**

(71)Applicant: **NISSAN MOTOR CO LTD**

(22)Date of filing: **18.11.81**

(72)Inventor: **SAKURADA KENICHI**

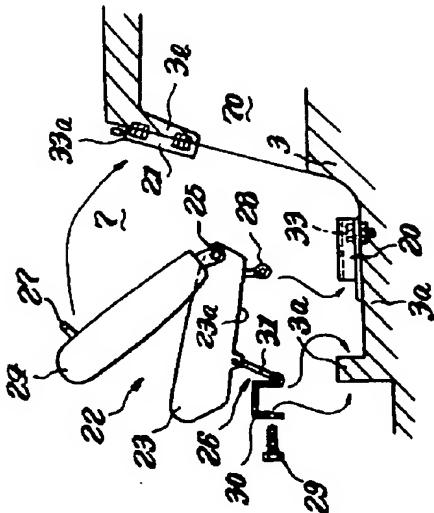
(54)RECLINING SEAT

(57)Abstract:

PURPOSE: To need no conventional base unit and to reduce the weight and cost by mounting a seat cushion slidably back and forth to a car body with a link and by mounting a seat back removably and slidably up and down to the car body.

CONSTITUTION: A guide rail 20 is provided on the floor of a car body 3 in a longitudinal direction and a projection member 3a is formed at a predetermined position of the floor. A seat 22 is constituted with a seat cushion 23 and seat back 24 connected rotatably back and forth by a link member 25, and a guide roller 28 is protruded below the seat cushion 23 so as to be fitted slidably back and forth to the guide rail 20. The seat cushion 23 is fitted slidably back and forth to a bracket 30 provided bestriding over said projection member 3a by a link 26. The seat back 24 is removably supported by a support member 21 fitted to a support place 3b through a lock member 27.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio



⑯ 日本国特許庁 (JP)
⑰ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開
昭58-85730

⑯ Int. Cl.³
B 60 N 1/06
A 47 C 1/024
B 60 N 1/10

識別記号

厅内整理番号
8008-3B
8008-3B
8008-3B

⑮ 公開 昭和58年(1983)5月23日
発明の数 1
審査請求 未請求

(全 6 頁)

⑯ リクライニングシート

⑰ 特願 昭56-185734
⑰ 出願 昭56(1981)11月18日
⑰ 発明者 桜田憲一

横浜市鶴見区大黒町6番地の1
日産自動車株式会社鶴見地区内

⑰ 出願人 日産自動車株式会社
横浜市神奈川区宝町2番地
⑰ 代理人 弁理士 石戸元

明細書

1. 発明の名称

リクライニングシート

2. 特許請求の範囲

シートクツションとシートバックとが回転自在に連結され、シートクツションがリンクにより車体に対して前後摺動自在に装設され、シートバックが車体に対して脱着可能で上下摺動自在に装設されたことを特徴とするリクライニングシート。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、自動車のリクライニングシートの構造に関する。

従来のリクライニングシートとしては、例えば第1図に示すようなものがある。即ちスライドレール1を組込んだベースユニット2をまず車体3へボルト4、5、6を使用して車室内2側から取付け、次にベースユニット2の掛止部10にシートバック8の上部枠9を掛止めし且つシートバック8の下部より突出したブラケット11をビス12でベースユニット2のプレート13に固定し、又シートク

ツション14の前側より突出したボルト15をベースユニット2の前端部16に貫通してナット17で固定し、シートクツション14の後側より突出したブラケット18を、ベースユニット2の回転ヒンジ19に掛止していた。

しかしながら、このような従来のリクライニングシートにあつては、シート8、14とベースユニット2とより二重構造に形成されかつ、ベースユニット2が車体3へ固定されている構造となつていたため、原価が高く、安価にすることが望まれていた。

この発明は、このような従来の問題点に着目してなされたもので、ベースユニットを廃してシートの二重構造をやめシートクツションを直接前後摺動可能とし、このシートクツションに連結されたシートバックの車体への取付部を脱着可能かつ上下摺動可能とすることにより、上記問題点を解決することを目的としている。

この発明の要旨はシートクツションとシートバックとが回転自在に連結され、シートクツション

がリンク24により車体3に対して前後滑動自在に装設され、シートパックが車体に対して脱着可能で上下滑動自在に装設されたことを特徴とするリクライニングシートである。

以下、この発明を図面に基づいて説明する。

第2図乃至第13図は、この発明の第1実施例を示す図である。

まず構成を説明すると、車体3のフロア3aにガイドレール20が前後に延在して設けられ、サポートブレース30にシートパック支持部材21が固設される。22はシートで、シートクツション23とシートパック24とが連結部材25により前後回転自在に連結され、シートクツション23が、リンク24によりフロア3aに対して前後滑動自在に装設され、シートパック24のロック部材37がシートパック支持部材21に対して脱着可能で上下滑動自在に装設されている。28はシートクツション23下部より突出したガイドローラーで、ガイドレール20に対して前後滑動自在に装設されている。前記リンク24は、車体3より突出したメンバー3aに跨設

され、ボルト29により固設されたブラケット30と、下端部を該ブラケット30に、上端部を、シートクツション23下面23aに夫々回転自在に軸支されたバー31によりなる。

前記ガイドレール20は、上部にガイドローラー28の滑動しうる空間32が溝状に形成され、車体3にガイドレール20を取付けるボルト33が、ガイドローラー28の移動後端となるストップバーである。

前記シートパック支持部材21は、前記ロック部材27の頭部27aによって離間し、ロック部材27の頭部27aを挿持可能にロッドスプリング40にてよつて付勢されたガイドピン41a, 41bを有するロッドクロッド41と、該ロッククロッド41のガイドピン41a, 41bが夫々挿入され、且つ上方に斜面42aを有するロックホール42が形成されたロックガイドプレート43と、前記ロック部材27の保脱可能な貫通穴44が形成され、且つ前記ロックガイドプレート43の突出舌片45を貫通させる貫通穴46aを有するフランジ46が折曲形成されたベースプレート47と、該ベースプレート47にロック

クガイドプレート43を支持し且つ囲繞したケース48によりなる。49は、前記ロックガイドプレート43の突出舌片45に固設された操作ノブで、該舌片45に巻装されたコイル状のスプリング50により、常に操作ノブ49が上方に付勢され、よつてロッククロッド41のガイドピン41a, 41bが、ロックガイドプレート43のロックホール42の水平面42aに圧接されることになる。51, 52はロックガイドプレート43およびケース48に夫々形成されたロック部材27の干渉防止用逃げ穴である。53, 54はベースプレート47およびケース48に夫々形成されたロッククロッド41のガイドピン41a, 41bのガイド穴である。55はケース48より切りおこされたロックガイドプレート43固定用舌片、56はベースプレート47より突出されたロックガイドプレート43の突起である。57はガイドピン41a, 41bをケース48に支持するブッシュナット、58はサポートブレース30にボルト33aによつてシートパック支持部材21は固持されるためのボルト33a挿通用穴である。

60は第8図および第9図に示すリクライニング調節装置で、前記リンク24のバー31の車両左右中央部近傍の折曲部61に回転自在に支持された操作レバー62と、メンバー3aに固設され、前後に複数の歯63…を有するストップバープレート64と、前記操作レバー62に支持され且つ自由端部65が前記ストップバープレート64の歯63のいずれかに保合可能にされたリクライニングロックピン66と、前記折曲部61に巻装され、リクライニングロックピン66の自由端部65が歯63に係合するようロックピン66および又は操作レバー62を付勢したコイル状のロックスプリング67によりなる。68は前記操作レバー62のノブである。

次に組付順序を説明する。

まず、ガイドレール20及びシートパック支持部材21を車体3へボルト33およびボルト33aで取付ける。

次に、前記ガイドレール20へローラー28を挿入し、次にブラケット30をボルト29で車体メンバー3aに取付ける。このとき、ストップバープレート

64の歯63に、リクライニング装置60のロックピン66の自由端部65を保合する。

次にシートバック24を起して、車体3に取付けられたシートバック支持部材21にシートバック24背面に取付けられたロック部材27を第10図実線位置から二点鎖線の27'にまで挿入するべく加圧するとロック部材27の頭部27aでロックロッド41、41の間隔をロッドスプリング40に抗して押し広げて中へ入り、ロック部材27の頭部27aはロックロッド41、41にてロッドスプリング40の付勢力により挾持固定される。

次に作動について説明する。

この組付状態で、操作レバー62を第9図矢印方向に回転させて、自由端部65をストップバーべレート64の歯63から離脱させる。シートクツション23はリンク26のブレケット30を中心に第11図に示すように回転自在になり、シートクツション23を前後いずれかに動かして歯63のいずれかに自由端部65を再保合させると、シートクツション23の位置が固定される。このとき、シートクツ

このため、車体3にシート23を取付ける場合の順序はまず、ピン80をシートバック支持部材81の挿入口82に保合し、次に、ガイドローラー28をガイドレール20に保合し、次にブレケット30を車体3のメンバー35にボルト29で固設する。

この構造による作動は前記実施例と同一で、シートクツション23の前後動（若干、上下動もある）にともない、シートバック24のピン80が、挿入口82内を上下いずれかに摺動することになる。

第15図は本発明の第3実施例で、前記第2実施例同様、シートバックの車体への取付構造に関する点が本発明の第1実施例と主に異なる点である。

即ち、90は、シートバック24にあらかじめ取付けられたシートバック支持部材である。この支持部材90は、シートバック24の側方より突設されたピン91と、該ピン91に対して上下摺動自在に保合して配されたスライドプレート92と、該スライドプレート92より後方に突出され、ボルト93により車体3に固持されたブレケット94とよりなる。95はボルト93を覆うボルトカバーである。

昭58- 85730(3)

ション23の動きによつてシートバック24が第12図に示すように上下いずれかに摺動することになり、ロック部材27はロックロッド41/42沿つて摺動し、離脱されない。

次にシートバック24を前倒しさせる場合は操作ノブ44を下へ押し下げることにより第13図に示すようにロックガイドプレート43のロックホール42の上方斜面42aに従つてロックロッド41のガイドピン41a、41bは矢印▲方向、即ちロッドスプリング40に逆らながら案内してロックロッド41の間隔が拡がつていきロック部材27はシートバック支持部材21から解除されることになる。こうしてシートバック24が前倒しできるとトランクルーム70と室内71とが連通されることになる。

第14図は本発明の第2実施例で、前記第1実施例と主に異なる点はシートバック24の車体3への取付構造である。

即ち、シートバック24の側方より突出されたピン80が、車体3に固設したシートバック支持部材81の上向きの挿入口82に保合可能とされている。

この実施例によつて、シートクツション23を前後摺動せしめると、シートバック24がスライドプレート92を上下動することになる。

以上説明してきたように、この発明によれば、その構成をシートクツションを前後摺動可能とし、このシートクツションに連結されたシートバックの車体への取付を脱着可能かつ上下摺動可能としたため、このシートは従来のようにベースユニットを必要とせず二重構造をやめられるため、重量の軽減および製造コストの低減が計れるという効果がある。更にシートバックを前倒し可能にすると、車室内とトランクルームとが連通できるという効果が得られる。

4 図面の簡単な説明

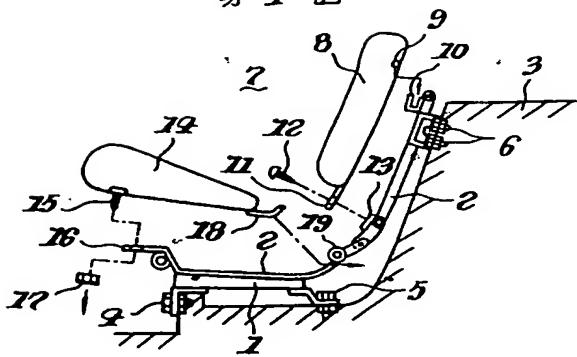
第1図は、従来のシートの断面説明図、第2図は本発明の第1実施例に保るシートの断面説明図、第3図は本発明のガイドレール20およびガイドローラー28の斜視説明図、第4図は本発明のシートバック支持部材21の分解斜視説明図、第5図は、該支持部材21の一部破断正面説明図、第6図およ

び第7図は第5図のⅤ-Ⅴ線よりⅤ-Ⅴ線断面説明図、第8図は本発明のリクライニング調節装置26の斜視説明図、第9図はリクライニング調節装置26の側面説明図、第10図はロック部材27とシートバック支持部材21との係合作動説明図、第11図は本発明のシート22の作動説明図、第12図はロック部材27がロックロッド41に対して上下滑動することを示す作動説明図、第13図はシートバック支持部材21のロック部材27離脱作動説明図、第14図および第15図はシートバックの車体への取付に関する本発明第2、第3実施例説明図である。

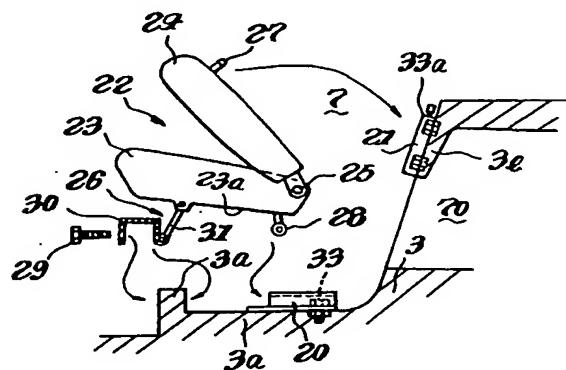
20…ガイドレール、21、27、90…シートバック支持部材、22…シート、23…シートクッション、24…シートバック、25…連結部材、26…リンク。

代理人弁理士 石 戸

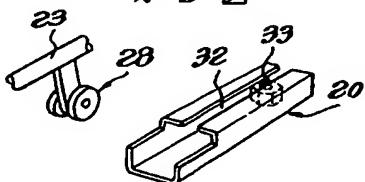
第1図



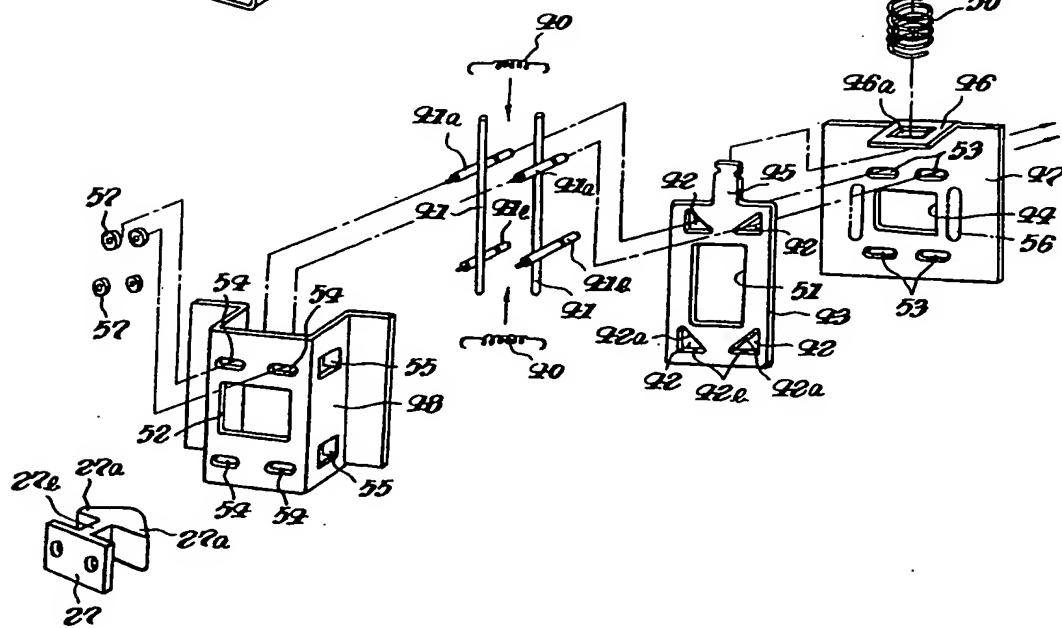
第2図



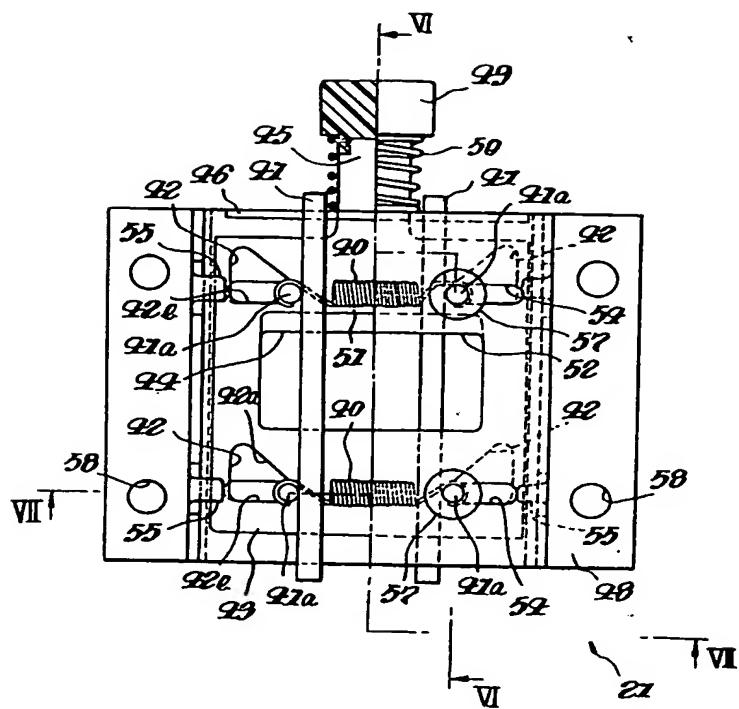
第3図



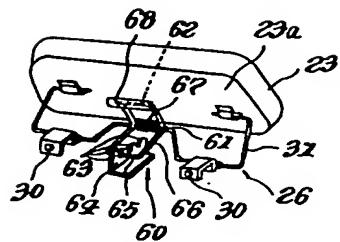
第4図



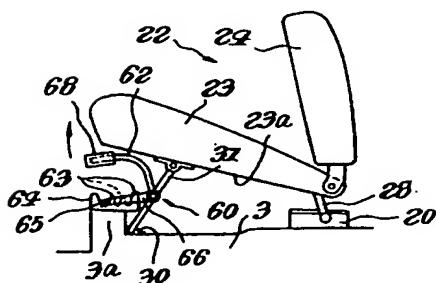
第5図



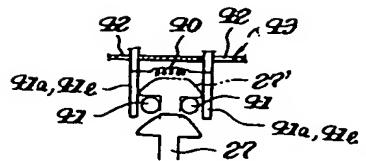
第 8 圖



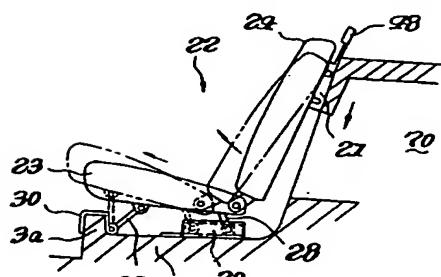
第9圖



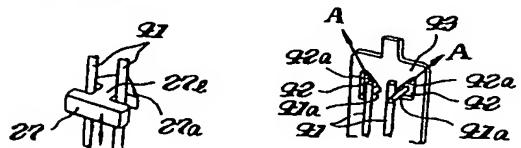
第 10 図



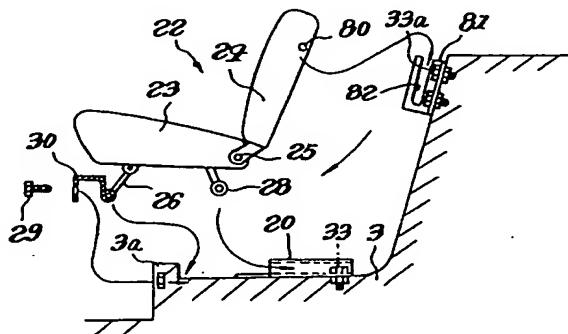
第 2 図



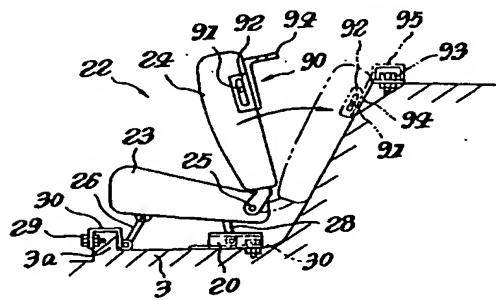
筹政圖



第19回



第15圖



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.